



令和7年3月4日

地下水中の有機フッ素化合物（通称：PFAS^{※1}）の調査を実施しました

本市では、市内18か所の定点井戸で、地下水質の環境基準の適合状況を調査しています。

有機フッ素化合物については、令和2年に国により暫定指針値^{※1}（50ng/L）が設定されたことから、昨年度と今年度の2か年にわたって18か所の定点井戸で実態把握調査を実施しました。

この度、令和6年10月に実施した調査の結果、新たに暫定指針値を超過した井戸の再調査及び濃度が高かった地点の周辺井戸の追加調査を令和7年1月に実施しました。（調査結果は下表のとおり）

なお、2カ年の調査の結果、市内の定点井戸**全18地点のうち、17地点で暫定指針値を下回っている**ことを確認しました。暫定指針値超過を確認した井戸1か所は、今後も継続して調査を実施します。

なお、本市の水道水には川崎市内の地下水は使っておらず、年4回実施している**水道水中のPFOS及びPFOAの測定では不検出となっていますので、水道水は安心してお飲みいただけます。**

（令和7年1月の調査結果）

単位：ng/L（ナノグラム^{※2}パーリットル）

NO		採水地点	井戸区分	PFOS	PFOA	合算値	
R5-追加3	R6追加調査	高津区	諏訪①（3回目）	浅井戸	22	32	54(57)
R6-追加1			二子	深井戸	7	10	17
R6-追加2			諏訪②	浅井戸	5.3	16	21

（注）合算値は「PFOS」と「PFOA」の合計と一致しない場合があります。（ ）は前回の測定値

（※1 PFAS, 暫定指針値）

暫定指針値とは、PFASのうちPFOS及びPFOAに関する暫定的な目標値（PFOS及びPFOAの合算値）として国が定めたもので、体重50kgの人が、1日当たり2Lの水を一生涯にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れないと考えられる値として設定されています。

（※2 ナノグラム）

1ナノグラムは10億分の1グラム

(参考：令和6年10月の調査結果)

単位：ng/L

NO	新規/継続	採水地点		井戸区分	PFOS	PFOA	合算値
R6-1	R6新規	川崎区	大島	浅井戸	不検出	不検出	不検出
R6-2		幸区	小向西町	浅井戸	35	13	48
R6-3			南加瀬	浅井戸	5.5	5.0	10
R6-4		高津区	上作延	浅井戸	不検出	不検出	不検出
R6-5		宮前区	菅生	深井戸			
R6-6			土橋	深井戸			
R6-7			野川本町	浅井戸			
R6-8			東有馬	浅井戸			
R6-9		馬絹	浅井戸				
R6-10		麻生区	上麻生	浅井戸	27	7.7	35
R6-11			黒川	浅井戸	不検出	5.4	7
R6-12			下麻生	浅井戸		不検出	不検出
R6-13			高石	浅井戸	2.7		5
R5-3	R5からの継続調査	高津区	北見方①（3回目）	浅井戸	120	18	140(160)
R5-追加1			北見方②（2回目）	浅井戸	59	14	74(91)
R5-追加3			諏訪①（2回目）	浅井戸	35	22	57(48)

()は前回の測定値、青色は定点測定地点

(参考：令和5年度の調査結果)

単位：ng/L

NO	新規/追加	採水地点		井戸区分	PFOS	PFOA	合算値
R5-1	R5新規	中原区	下小田中	浅井戸	4.6	8.9	13
R5-2			下沼部	浅井戸	9.1	8.8	17
R5-3		高津区	北見方①（1回目）	浅井戸	150	14	160
R5-4		多摩区	宿河原	浅井戸	16	7.8	23
R5-5			菅稲田堤	浅井戸	6.8	2.8	9
R5-他	(参考)	幸区	小向町	浅井戸	10	18	28
R5-3	R5追加調査	高津区	北見方①（2回目）	浅井戸	150	17	160(160)
R5-追加1			北見方②（1回目）	浅井戸	78	13	91
R5-追加2			坂戸	浅井戸	2.3	5.2	7
R5-追加3			諏訪①（1回目）	浅井戸	25	23	48
R5-追加4			下野毛	浅井戸	7.9	11	18

()は前回の測定値、青色は定点測定地点

問合せ先
川崎市環境局環境対策部環境保全課 土壌担当
電話 044-200-2534